

平成27年度安全報告書

—利用者はじめ地元の皆様へ—

平素から井原鉄道をご利用いただきますとともに格別のご理解、ご支援を賜り誠にありがとうございます。

当社は輸送の安全性の向上に向けた取り組みと安全最優先の方針の下、安全管理体制を構築し、法令の遵守とともに安全安定輸送に努めております。本年度で開業から17年が経過しましたが、これまで公共交通機関としての役割を担うことができたことは、地域の皆様のご支援とご理解をいただいたおかげであり、厚くお礼を申し上げます。

この報告書は鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取り組み状況や安全の実情について自ら振り返るとともに広くご理解をいただくために公表するものです。今後とも更なる安全・安定輸送を心がけるため、皆さまからの声を輸送の安全に役立てたいと考えておりますので、是非とも率直なご意見をいただければ幸いです。

井原鉄道株式会社

代表取締役社長 晝田 眞三

1 安全を確保するための基本方針と安全目標

(1) 基本方針

当社における安全に関する基本的な考え方は、運転の安全の確保に関する省令等に基づいて「安全綱領」及び「安全に係る行動規範」として定め、社長以下社員全員に周知・徹底し、行動できるように日頃から鍛錬を行っています。

☆「安全綱領」

- ①安全の確保は、輸送の生命である。
- ②規程の遵守は、安全の基礎である。
- ③執務の厳正は、安全の要件である。

☆「安全に係る行動規範」

- ①一致協力して輸送の安全の確保に努める。
- ②輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともに、これを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行する。
- ③常に輸送の安全に関する状況を理解するように努める。
- ④職務の実施にあたり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のあるときは最も安全と思われる取扱いをする。
- ⑤事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとる。
- ⑥情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保する。
- ⑦常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦する。

(2)安全基本計画

到達目標として「お客様の死傷事故ゼロ、地域に根づいた鉄道への構築」を掲げ全社員一丸となって取り組むとともに、具体的取組計画として「安全基本計画」を策定し、その中でリスクマネジメントを行い、社員の安全に対する意識の高揚と地域のマイレールに対する認識をより一層高めてまいります。

2 事故等の発生状況とその対策措置

平成27年度の状況は次のとおりです。

(1)鉄道運転事故

・鉄道運転事故はありませんでした。

(2)インシデント(事故の兆候)

・インシデントはありませんでした。

(3)輸送障害(30分以上の遅延・運休。ただしJR線区の影響による遅延は除く)

・輸送障害はありませんでした。

(4)災害(地震、暴風雨、降雪等)その他

・災害その他の国土交通省への報告(運転休止)は1件ありました。

(7月17日台風11号)

(5)行政指導

・特に行政指導等はありませんでした。

3 輸送の安全確保のための取組み

(1)運輸安全マネジメントによる内部監査の実施

内部監査を通じて安全管理体制をチェックし、問題の共有化を図りました。

①運輸部運転課の監査(10月21日)

②経営トップ、安全統括管理者の監査(12月7日)

③総務企画部の監査(12月7日)

(2)安全管理体制の構築

社長のリーダーシップの下、各管理者の責任体制を明確にした安全管理体制を構築しています。

(3)安全重点施策

①安全に関する会議の開催

・社長をトップとした安全に関する会議などにおいて、安全重点施策をはじめとする様々な取り組みを審議するほか、それらの確実な実施に向けて継続的改善を図りました。

②リスクアセスメント

・事前にリスク(危険)の大きさを評価し、お客様の死傷事故や労働災害に繋がる可能性の高いものについて適切な対策を講じてまいりました。

③現場力の向上

- ・社内で報告文化を形成することが、お客様の信頼を高め安全性向上に繋がるという意識の向上、またチームワークを形成することで安全を支えるコミュニケーションの改善を図りました。
- ・リスクや安全上の課題について、社員参画の下、解決策を見出していく取り組みを行いました。

(4)その他の安全の取り組み

①乗務員指導訓練等

- ・毎月、全乗務員及び指令員に対し勉強会を実施するとともに、車両故障や異常時対応及び規程、マニュアルの再徹底並びに知悉度試験等を実施しました。

②施設重点施策

- ・計画的に軌道全般及び電気設備等の検査、整備等を行い安全運行の確保に努めました。

・主な設備の機器更新等

i 踏切遮断機取替	2台
ii 沿線電話機取替	10台
iii 信号用電源装置オーバーホール	2台
iv 設備監視装置更新	1式
v 監視カメラ設置	4駅

③車両保守点検・整備

- ・計画的に検査、修繕、取替等を行い、安全で乗り心地の良い車両の提供に努めました。

i 重要部検査	3両
ii 車輪取替	3両

④異常時対応訓練

- ・事故発生時における旅客の安全確保と復旧への迅速な対応能力の向上を図るため、実施しました。

i 総合復旧訓練

井原コントロールセンター内（旅客救済、脱線復旧等）（10月16日）

ii JR西日本(岡山支社)との合同訓練

伯備線清音駅～吉備真備駅間(旅客救済訓練、伝令法等)（3月11日）

⑤輸送安全総点検等の実施

- ・三大繁忙期を全社員一丸となり、絶対に重大事故は発生させないという強い意思のもと重点実施項目を定め、トップ自ら現場点検を行い、安全性の向上に努め事故防止を図りました。

i GW及び夏期多客輸送において事故防止運動の取組み

ii 年末年始輸送安全総点検

⑥踏切事故対策等

交通安全運動、キャンペーン期間に合わせて、井原線内5踏切において、警察・行政機関と連携し、踏切注意事項等のチラシを配布して啓蒙活動を実施しました。(5月15日、9月29日、11月2日)

⑦テロ対策

鉄道テロ対策警戒実施項目の危機管理レベルに応じた行動規範及びマニュアルに則り、不審者・不審物等のチェック、点検、巡回等を実施しました。

⑧その他

ダイヤ改正を実施しました。(3月26日)

4 安全に対する今後の取組み

平成28年度の安全の到達目標を「輸送の安全に関する法令及び規程を遵守し、死傷事故ゼロを達成する。」と設定しました。

・安心、安定輸送の提供は、当社にとって最も重要であり安全管理規程に則り、安全第一の意識を持ち社長以下全社員が一丸となって取り組んでまいります。

・経営の安定を図るとともに、安全の確保と向上をめざして策定した中期経営計画に基づき、計画的に維持修繕を実施してまいります。